

# テーマⅠ 『ウクライナ戦争とは』

# テーマⅡ 『日本人の国民性と美を考える』

## 東京サロン NO 4 5

四季がある日本、そこには豊かな自然と穏やかなる国民性が育まれてきました。

「ああ鈴虫が泣いている・・・」「古池やかわず飛び込む水の音」。日本人は、それを心地よい癒しと捉える。しかし、西洋人は、騒音？日本語は、難解と言われるが、「私という主語」にもいろいろある。宮沢賢治の「雨にも負けず、風邪にも負けず…」も、主語が明確ではない。しかし、私たちはまったく困らない。英語はアルファベット26文字だけ。世界一、簡明で分かり易い。世界の共通語と言われている。日本語は、漢字・ひらがな・カタカナとあり、使い分けがむずかしい。更に、言葉のイントネーションが、実に静かである。言葉の間合い、言葉の含み、言葉の奥深さ。俳句・短歌は、日本独特。世界にはない。また、文化的にも、お能・狂言・歌舞伎・浄瑠璃・・・更には、花鳥風月・幽玄・わび・さび・・・これらから「日本人の心の変遷」「日本人の国民性とは」「日本人の美意識とは」を、考えてみたいとも思います。日本人の本来持っていた「美意識」が失われつつある、とも言われている今、改めて、みなさんと議論したいと思います。

テーマⅠ：『ウクライナ戦争とは』

テーマⅡ：「日本人の国民性と美とは」

テーマⅢ：日本人の言語

テーマⅣ：ヨーロッパの合理主義と、わび・さびの世界

テーマⅤ：日本人の伝統芸能

テーマⅥ：日本人とアニミズム

日時： 2026年4月6日（月曜日） PM1：30 スタート

会場： 大田区「消費者生活センター」 二階 集会室

講師： 第一部 眞木昭司

第二部 治田邦宏